

ボクシング五輪金メダリストでプロでも世界王者になった



むら た りょう た
村田 諒 太 さん



2012年ロンドン五輪金メダル獲得に続き、最激戦区ともいわれるミドル級で日本選手22年ぶりの世界王座に就いた。結果を残した自分を少し褒めてあげたい」。新ヒーローはチャンピオンベルトを手中に感慨に浸った。

恵まれたパワーを持つ少年がグローブをはめたのは中学時代。金髪に染めるなど荒れていた時期に担任教師に勧められた。

東京都高（現京都広学館高）での恩師との出会いが世界への道を開く。世界王者となった山中慎介選手らを育てたボクシング部の武元前川監督に心身共に

① 村田さんがボクシングを始めたのは、いつですか？

② 村田さんの心に刻(きざ)まれてきた高校時代の恩師の言葉を書きましょう。

③ 記事を読んだ感想を書きましょう。

鍛えられた。むやみに力を誇示したこともあったが「おまえの拳は弱い者を殴るためにあるんじゃない。可能性にチャレンジしなさい」と諭され真摯に高みを目指すことを決めた。

10年に武元さんは急逝。「努力したからといって報われるわけじゃない。でも努力しないと報われない」の師の言葉は心に刻まれてきた。「厳しい言葉だけど支えになってきたアーマ、プロで頂点に立つ原動力となった。5月の初の世界戦は健闘むなしく採点に泣いたが、不満を一切口にせず鍛錬を怠らせた。

ニーチェなど哲学や心理学の本を好み「闘う哲学者」と呼ばれる。ナチスの強制収容所を生き延び「生きる意味」を説いたフランクルの「夜と霧」が愛読書。佳子夫人と1男1女。世界戦前に運動会に参加して徒競走で1番になった子どもに「次はパパが頑張る番」と勇気をもらった。英会話も得意。31歳。奈良県出身。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。